

次の一般選挙から議員定数を2人削減

本市議会の現行の議員定数は、既に法定上限数の30人より6人少ない24人としていますが、現行の議員定数を改めて検討するべきとの意見が大勢を占め、本年9月から議論を重ねてきました。そして、次の一般選挙から議員定数を2人削減し、22人とする「坂出市議会議員定数条例の一部を改正する条例案」が、今定例会で議員より提出され、審議の結果、賛成多数で可決しました。

なお、他の議員より提出された、議長・副議長及び議員の議員報酬を減額する「坂出市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案」については、審議の結果、賛成少数で否決しました。

視察来庁記録

10月 29日 新潟県 長岡市
坂出駅周辺整備主要
プロジェクトについて

11月 30日 神奈川県 寒川町
（自主防災の
取り組みについて

11月 11日 兵庫県 三木市
（市立病院の経営について）
13日 京都府 亀岡市
（市立病院の経営について）

11月 6日 東京都 日野市
（市立病院の
経営状況について）
20日 北海道 小樽市
（市立病院の
経営改善について）

12月定例会で同意した人事案件 （敬称略）

◎坂出市教育委員会委員
三好 康 弘

主な陳情書

- 公財政支出による教育費の充実を求める意見書採択に関する陳情
- じん肺やアスベスト被害の根絶を求める要請書
- ぐらし支える行政サービスの拡充を求める陳情
- 2010年度の年金確保を求める意見書採択の陳情書
- JR不採用問題の早期解決を求める議会決議への要請書
- 核兵器の廃絶と恒久平和を求める要請書
- 「所得税法第56条の廃止」の意見書採択をもとめる陳情書

編集後記

国と地方の関係において、新政権は、地域主権・地域分権など、地方重視の姿勢を示しております。

このような中、市長は、市民の誰もが「坂出に生まれてよかった」「坂出に住んでよかった」と実感できる町づくりを目指していますが、そのためには、本市のシンクタンクのフル回転が必要であるうと思えます。

シンクタンクとは、「さまざまな領域の専門家を集め、社会開発や政策決定などの複合的な問題や、未来の課題を研究する機関」ですが、私は、このシンクタンクは、市の行政や議会の中にあると考えております。

それは、市長を初めとする市の行政部門と、議長を初めとする私たち議員が、英知を絞り、「市民の幸せのために」をモットーとして、活発な行政・議会活動を展開していくことです。

今後とも、市勢発展のため、このシンクタンクをフル回転させていきたいと思えます。
（池田 睦雄）

議会だより編集委員会

委員長 副委員長

松田 実 錦美弥子

委員

松成国宏 富岡利昭

池田睦雄